

公益社団法人 日本農業法人協会

話し手：理事 嶋崎 田鶴子さん、事務局 名取 芙海さん

団体情報

所在地	東京都千代田区
代表者	会長 齋藤 一志
設立年	1998年6月
メンバー数	人材委員会 女性参画拡大部会 10名（うち女性8名） 自主的研究会 やまと凛々アグリネット 42名（全員女性、全国19道県に在籍）
特徴	女性農業経営者の活躍促進と経営発展を目的に会員の自主的研究会「やまと凛々アグリネット」の活動を展開しています。さらに、「女性参画拡大部会」を設置し、地域での女性活躍支援や全国的なネットワークづくりを進めています。



団体サイト



補助金の使い方内訳

新潟県視察	約 15 万円
研修会開催	約 51 万円
交流会旅費	約 33 万円

・解決したかった課題・

新たな活動を取り入れて、 協会の魅力を向上させたい

当協会では、やまと凛々アグリネット等の活動から農業の女性活躍推進に長年取り組んできましたが、ここ数年は活動の停滞等の壁を感じていました。個々の農業経営、都道府県農業法人組織、そして当協会等で活躍する女性の役員を増やし、意思決定の場へ参画してほしいと思う一方、リーダーシップを発揮できる人材育成のための「学ぶ機会」の不足を感じていました。特に「財務管理」や「BCP（事業継続計画）」等の高度なテーマに取り組む機会が、経営者としての学びや成長の場として必要だと思っていました。

地域の枠を越えて、 学びや交流の場をPRしたい

当協会には全国各地に会員が在籍しており、都道府県単位や全国7つのブロック単位、全国規模で活動することがメリットです。特に都道府県やブロック等の身近な場所で開催される農業法人のブロック交流会には、東京などでの全国的なイベントに家庭や育児の都合で参加できない女性会員も気軽に参加できます。地域交流の場で私たちの活動や目的を周知することが効果的ですが、PRする女性参画拡大部会のメンバーが遠方から訪れるため、旅費などの経費が課題でした。



・補助事業でこんなことができました！・

研修の成果として BCP策定ができた！

女性農業者を対象に、BCP（事業継続計画）策定の研修を実施しました。BCPとは、災害や緊急事態に備え、事業継続のための計画、準備、対策をまとめたもので、何らかの有事がないと、BCPを考えるきっかけがそもそもなかったり、策定するにもどこから手を付けていいかわからなかったりするものですが、今回の研修に参加した皆さんが、ゼロベースからBCP策定をすることができたことは大きな成果です。

また、講演形式の「話を聞いて終わり」ではなく、「自社で取り組む」まで行うことを意識して研修会の企画を詰めていましたので、研修課題対応のために社内の方を巻き込んで調整・検討したり、講師の方からの客観的な評価を得たりしたことで、参加した方が自身の会社への理解を深める一助ともなったのではないかと思います。参加者の方々からは『経営や財務の視点を持つきっかけになった』というお声をいただいております。今後も実践的な学びの場を増やし、女性農業者の皆さまがリーダーシップを発揮して経営に携われるよう、研修の充実を目指してまいります。

新たな会員や 活動紹介の機会を獲得！

全国の地域ブロックで実施している交流会に部会員が参加し、当協会の女性活躍に関する考え方や、やまと凛々アグリネットの活動紹介を行い、人材の発掘や新規会員の勧誘を行いました。少数ではあるものの、やまと凛々アグリネットへの入会にもつながっており、協会のことを知っていた方には自分たちの活動の意義を再認識してもらい、知らなかった方には協会の存在や活動を知っていただく機会となりました。

また、交流会での活動報告を聞いた農政局の方との縁で、同地域内の農業女子プロジェクトのイベントで活動紹介を実施することにもつながりました。交流会への訪問は各地で概ね歓迎され、「女性参画」や「女性活躍」の重要性を認識していただけたと思いますが、さまざまな立場の人が参加する組織の中で、「女性」という特定の人だけをターゲットにした活動に対する合意形成の難しさも感じました。会員それぞれの期待に注意を向け、根気強く取り組んでいくことが必要です。当協会の理事に新たに女性が就くなど、今後の成果を期待したいです。

・今後のビジョン・

女性農業者がリーダーシップを発揮できる環境を目指して

交流や学びの機会を広げるなど、女性農業者が経営に関わりやすい環境を整えながら、協会のPRや会員増加にもつながっていきます。

さらに、経験豊富なメンバーのネットワークを生かし、ビギナー層の女性農業者の課題解決をサポートする取り組みも検討し、女性が活躍しやすい仕組みづくりも進めていきたいです。

